



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年10月30日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 布施 信夫
 (氏名) 森田 正和
 TEL 03-6741-5742

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,835	△24.4	△2,628	—	△2,928	—	△1,952	—
2020年3月期第2四半期	47,422	13.2	275	—	△192	—	865	—

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,435百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△44.05	—
2020年3月期第2四半期	19.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	56,957	22,026	36.6
2020年3月期	62,154	27,478	40.3

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 20,828百万円 2020年3月期 25,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

未定としておりました中間配当及び期末配当予想については、無配といたしました。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	△10.7	△2,200	—	△2,650	—	△1,150	—	△25.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。詳細については、添付資料P5「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	44,741,467 株	2020年3月期	44,741,467 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	353,231 株	2020年3月期	468,341 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	44,312,754 株	2020年3月期2Q	44,056,942 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せず社会活動や経済活動が制限される中、当社グループにおいては、感染拡大の防止策を最大限に講じながら活動の再開を進めてまいりました。各事業においては段階的な改善傾向は見受けられるものの、依然として当社グループの事業状況には大きな影響が出ております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は358億35百万円(前年同四半期比24.4%減)、営業損失は26億28百万円(前年同四半期は営業利益2億75百万円)、経常損失は29億28百万円(前年同四半期は経常損失1億92百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は19億52百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億65百万円)を計上いたしました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より「映像制作サービス事業」並びに「メディア・ローカライゼーション事業」を統合し、業績報告のセグメント区分を従来の4区分から「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「映像システム事業」の3区分に変更いたしました。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

1)映像コンテンツ事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は71億90百万円(前年同四半期比53.5%減)、営業損失は7億12百万円(前年同四半期は営業損失26百万円)となりました。

第2四半期連結会計期間末に公開された劇場映画作品があったものの、その他の映画作品は公開延期に伴い、売上計上が第3四半期以降に延期となりました。TVCMの撮影業務は徐々に再開をしておりますが、一方で音楽ライブ等の収録は依然として中止や延期が継続しております。TVアニメはシリーズの制作本数減少に加え、TV放送スケジュールの変更も発生しました。これらの結果、映像コンテンツ事業全体で減収減益となりました。

2)映像制作サービス事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は207億19百万円(前年同四半期比12.7%減)、営業損失は22億24百万円(前年同四半期は営業損失7億51百万円)となりました。

国内の映像技術サービス分野^{※1}においては、TV番組向けポストプロダクションサービスは継続的に受注を確保しました。TVCM向けポストプロダクションサービス、デジタルシネマサービス、撮影・配信、アーカイブサービス等の受注は第1四半期連結会計期間に比して回復基調にあります。

海外の映像技術サービス分野においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした欧州や北米各国のロックダウン(都市封鎖)に伴い、新作案件の制作停止が発生、受注が減少しました。

人材サービス分野においては、企業の新規採用活動の抑制により、人材派遣・紹介事業については需要が前年を下回りました。一方でデジタルコンテンツ事業においては、デバッグ事業で稼働が減少するも、ゲームの3DCG制作においては、制作環境のリモート化の対応により売上は前期並みに推移しました。

以上の結果、映像制作サービス事業セグメント全体で減収減益となりました。

※1：映像技術サービス分野：ポストプロダクションサービス、E2Eサービス^{※2}、撮影、アーカイブサービス等の映像制作技術に関連するサービス全般を言う。

※2：E2Eサービス：End to End。劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般を言い、主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューション^{※3}を統合したサービスを言う。

※3：ディストリビューション：各メディア(劇場、VODやDVD/BDなど)へ映像コンテンツを配信するため、完成した作品の原版から、それぞれのメディア用にデータを作成、データチェック、納品の作業、及びその工程管理・素材管理を包括的に行うサービスを言う。

※海外の映像技術サービス分野の業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には2020年1月1日～2020年6月30日の実績を反映しております。

3)映像システム事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は84億95百万円(前年同四半期比5.1%減)、営業利益は5億58百万円(前年同四半期比55.3%減)となりました。

映像システム分野においては、CMオンライン送稿が好調に推移しているものの、放送局向け案件の納品延期により売上計上が第3四半期以降となりました。イメージング分野においては、ハイスピードカメラは国内や欧米で販売苦戦が続くも、アジア地域では回復基調となっています。モバイルソリューション分野では、引き続きモバイルデータ通信の国内需要拡大により売上が伸長し、また台湾・中国向け映像・画像処理LSIの販売も順調に推移しました。

以上の結果、映像システム事業全体で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて46億34百万円(13.1%)減少し、306億61百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5億63百万円(2.1%)減少し、262億96百万円となりました。

これは主に、のれん及び関係会社株式が減少したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて51億97百万円(8.4%)減少し、569億57百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億94百万円(2.3%)増加し、263億56百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等、並びに賞与引当金が減少した一方で、前受金及び短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億39百万円(3.8%)減少し、85億74百万円となりました。

これは主に、繰延税金負債が増加した一方で、長期借入金が減少したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億55百万円(0.7%)増加し、349億31百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて54億52百万円(19.8%)減少し、220億26百万円となりました。

これは主に、資本剰余金及び利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響から、2021年3月期の連結業績予想を合理的に算定することが困難であると判断し「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

第1四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を目的とした経済活動の自粛により、当社グループの様々な事業活動が多大な影響を受けましたが、第2四半期連結会計期間では、TV番組向けポスプロの受注回復、アジア地域でハイスピードカメラや映像・画像処理LSI販売の回復など事業活動が徐々に改善をしております。また第3四半期以降においては、当社グループが制作受注した劇場映画作品が公開を予定されていることや、映像システム事業における放送局向け案件の受注を見込んでいることなどから、業績が改善していくと予測しております。

これらの予測に基づき、連結業績予想を売上高840億円、営業損失22億円、経常損失26億50百万円、親会社に帰属する当期純損失11億50百万円といたしました。なお、上記の業績予想については新型コロナウイルス感染症の収束時期や状況によって変動する可能性があります。

* (参考)上記の営業損失には費用として「のれん償却費等」が約13億円含まれています。

急速に進化する技術革新に加え、今般の新型コロナウイルス感染症拡大を背景とした社会環境の変化により、当社グループが軸足を置く映像関連事業においても大きな変革期を迎えています。

当社グループは、このような環境の変化をビジネスチャンスと捉え、“映像”による新しいエンタテインメントの提案、新しい生活様式に即した“映像”制作改革への挑戦、医療や教育分野などエンタテインメント分野にとらわれない産業界での“映像”活用など、ビジネスモデルの転換と新規事業の創出に取り組むことで、『総合力2021』の実現に向けた変革を加速してまいります。

<配当予想について>

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本とした上で、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

しかしながら、当期の親会社株主に帰属する当期純利益が損失を計上する見通しであることから、連結業績に応じた利益配分という基本方針に基づき、未定としておりました期末配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,339,777	5,871,379
受取手形及び売掛金	16,609,098	11,661,475
たな卸資産	9,734,028	10,816,774
その他	1,665,660	2,364,964
貸倒引当金	△53,471	△53,534
流動資産合計	35,295,092	30,661,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,468,029	13,576,669
減価償却累計額	△9,929,756	△10,155,761
減損損失累計額	△194,813	△194,813
建物及び構築物(純額)	3,343,459	3,226,095
機械装置及び運搬具	10,302,545	9,903,414
減価償却累計額	△10,062,367	△9,681,754
減損損失累計額	△107,024	△106,878
機械装置及び運搬具(純額)	133,153	114,780
土地	1,705,819	1,705,819
リース資産	2,031,925	1,538,010
減価償却累計額	△1,245,209	△864,284
減損損失累計額	△50,742	△41,668
リース資産(純額)	735,973	632,057
建設仮勘定	341,285	151,637
その他	5,321,117	5,678,040
減価償却累計額	△3,742,931	△3,982,504
減損損失累計額	△14,547	△14,547
その他(純額)	1,563,637	1,680,987
有形固定資産合計	7,823,328	7,511,377
無形固定資産		
ソフトウェア	1,242,332	1,150,710
のれん	3,167,870	2,864,123
その他	4,085,856	3,874,802
無形固定資産合計	8,496,059	7,889,636
投資その他の資産		
投資有価証券	2,296,170	2,617,035
関係会社株式	2,691,296	2,437,383
長期貸付金	1,986,264	1,982,584
敷金及び保証金	1,466,390	1,446,265
繰延税金資産	1,852,835	2,175,208
その他	375,336	359,073
貸倒引当金	△128,070	△121,983
投資その他の資産合計	10,540,222	10,895,566
固定資産合計	26,859,610	26,296,579
資産合計	62,154,703	56,957,639

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,060,774	4,240,950
短期借入金	5,004,318	7,055,761
未払金	3,027,865	3,999,151
未払法人税等	1,504,588	275,699
前受金	4,939,345	7,145,756
賞与引当金	1,245,383	784,347
役員等報酬引当金	106,568	—
受注損失引当金	218,878	40,653
その他	3,654,716	2,814,563
流動負債合計	25,762,438	26,356,883
固定負債		
長期借入金	5,510,940	5,047,719
長期未払金	174,097	148,018
繰延税金負債	283,312	435,790
退職給付に係る負債	1,233,649	1,285,535
その他	1,711,796	1,657,315
固定負債合計	8,913,796	8,574,378
負債合計	34,676,235	34,931,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	14,871,552	12,562,840
利益剰余金	7,730,081	5,556,559
自己株式	△479,516	△361,659
株主資本合計	25,428,120	21,063,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,009	406,792
繰延ヘッジ損益	—	△5,897
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△529,312	△616,913
退職給付に係る調整累計額	△1,082	△1,026
その他の包括利益累計額合計	△361,318	△234,977
新株予約権	11,484	11,484
非支配株主持分	2,400,180	1,186,127
純資産合計	27,478,467	22,026,377
負債純資産合計	62,154,703	56,957,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	47,422,306	35,835,183
売上原価	36,064,990	28,213,928
売上総利益	11,357,316	7,621,255
販売費及び一般管理費	11,081,854	10,249,792
営業利益又は営業損失(△)	275,462	△2,628,536
営業外収益		
受取利息	62,733	134,751
受取配当金	22,305	15,408
為替差益	—	12,017
その他	86,519	103,158
営業外収益合計	171,558	265,336
営業外費用		
支払利息	169,528	152,274
持分法による投資損失	280,735	339,691
為替差損	106,311	—
その他	82,820	73,494
営業外費用合計	639,395	565,460
経常損失(△)	△192,374	△2,928,661
特別利益		
固定資産売却益	1,650,357	1,194
移転補償金	—	121,825
その他	7,753	216
特別利益合計	1,658,110	123,236
特別損失		
固定資産売却損	—	263
固定資産除却損	16,520	29,036
減損損失	—	73,135
その他	14,146	16,302
特別損失合計	30,666	118,738
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,435,069	△2,924,162
法人税等	1,024,996	△436,957
四半期純利益又は四半期純損失(△)	410,072	△2,487,205
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△455,305	△535,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	865,378	△1,952,155

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	410,072	△2,487,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181,870	219,140
繰延ヘッジ損益	1,312	△5,897
為替換算調整勘定	△217,412	△161,240
退職給付に係る調整額	△1,761	55
その他の包括利益合計	△399,730	52,058
四半期包括利益	10,341	△2,435,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507,838	△1,825,815
非支配株主に係る四半期包括利益	△497,496	△609,330

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結会計期間において、連結子会社の株式を追加取得したことにより、資本剰余金が2,237,130千円減少しております。

また、2020年6月30日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式115,110株を処分したことにより、資本剰余金が71,582千円、自己株式が117,856千円減少しております。

これらの影響により、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が12,562,840千円、自己株式が361,659千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	15,409,488	23,235,180	8,772,148	47,416,816	5,490	47,422,306
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	44,762	508,761	182,914	736,438	△736,438	—
計	15,454,250	23,743,941	8,955,062	48,153,255	△730,948	47,422,306
セグメント利益 又は損失(△)	△26,420	△751,200	1,250,617	472,997	△197,535	275,462

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,535千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,445,767千円及びセグメント間取引消去△1,643,303千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,165,162	20,393,202	8,271,045	35,829,410	5,773	35,835,183
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,170	326,361	224,235	575,767	△575,767	—
計	7,190,332	20,719,563	8,495,281	36,405,178	△569,994	35,835,183
セグメント利益 又は損失(△)	△712,178	△2,224,281	558,909	△2,377,550	△250,986	△2,628,536

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,986千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,338,912千円及びセグメント間取引消去△1,589,898千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの変更等に関する事項

当社は従来「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「メディア・ローライゼーション事業」、「映像システム事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「映像制作サービス事業」並びに「メディア・ローライゼーション事業」を統合し、「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「映像システム事業」の3つの報告セグメントに変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「映像制作サービス事業」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失73,135千円を計上しております。